

平成24年第2回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
6月12日(火)	午前	1	小林由明議員
	午後	2	本多了一議員
		3	中島清一議員
		4	齋藤廣吉議員
		5	樋浦恵美議員
13日(水)	午前	6	渡邊雄三議員
		7	中條征男議員
	午後	8	埴 豊議員
		9	土田 昇議員
		10	齋藤紀美江議員
14日(木)	午前	11	山崎雅男議員
		12	長井由喜雄議員
	午後	13	齋藤信行議員
		14	タナカ・キン議員
		15	阿部健二議員
		16	中山眞二議員

平成24年第2回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質問内容
1	小林由明	<p>1. 公共施設の維持管理について</p> <p>(1) 市内公共施設の保守点検や修繕などは、その時期、内容などに基準を設けて行っているか。</p> <p>(2) 専門家による定期点検を受けているか。</p> <p>(3) 専門家の知見に基づく維持管理マニュアルなど作成されているか。</p> <p>(4) 小修繕などで住民が参加できるものについて、住民への協力を仰ぎ、住民と市が共同で作業を行うことは考えられないか。</p> <p>2. 広報について</p> <p>(1) 住民にとって市からの日頃の情報提供が、さらに伝わり易く分かり易くなっていく必要性について、市はどのように考え、どのように取り組んでいるか。また、どのように取り組んでいくか。</p> <p>(2) 公共施設各所にある住民への情報提供の掲示板やチラシの入る棚など設置してあるコーナーを、より効果的効率的に活用していただきたいが、その方策について伺いたい。</p> <p>(3) 外国向けの広報について</p> <p>①燕市は産業の振興でグローバルな展開を目指しているが、外国向けの広報について、どのように取り組んでいるか。また、どのように取り組んで行くか。</p> <p>②外国人や広報の専門家の意見を取り入れ、質の高い、効果のある広報活動を行っていただきたいが、お考えを伺う。</p> <p>3. 入園入学式、卒園卒業式の開催日について</p> <p>(1) 入園入学式、卒園卒業式を休日に行うことはできないか。</p>
2	本多了一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 特にTPPについて問う。</p> <p>3月議会でTPP交渉参加に向けた協議の中止を求める請願が採択されたが、TPPの内容が明らかになればなるほど、日本の国民の生活のあらゆる分野に大きな影響が出て来ることが明らかになって来ている。このことについての市長の認識を問う。</p> <p>(2) 市長はTPPに参加すれば燕の産業が発展する保障があると考えられるか。</p> <p>(3) 安全な食料は日本の大地からの世論についてどう受けとめられるか。</p> <p>(4) 議会が採択したTPP交渉参加に向けた協議の中止を求める意見書に市長は同意できるか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	本 多 了 一	<p>2. 中学校の武道の必修化で柔道での事故の心配はないか</p> <p>(1) 燕中学校と吉田中学校が剣道と柔道、燕北中学校、小池中学校、分水中学校が柔道のみとなっているようだが、全国的に見て柔道で重大事故が多発していると聞いている。事故の対策はどう考えているか。</p> <p>(2) 万一事故が起きたとき、どこがどのような責任を取るのか。</p> <p>3. 燕北中学校の野球場の整備について</p> <p>(1) 体育館建て替え後、野球場を含めた整備が必要でないか。</p>
3	中 島 清 一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) がれきの広域処理問題に対して市長の考えを伺う</p> <p>東日本大震災で発生したがれきの広域処理が問題になっている。本県においては新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市の5市が岩手県大槌町のがれき受け入れで調整が始められている。</p> <p>一方、泉田県知事は復興支援の観点から「がれきの受け入れに反対するものではない」としながらも、放射性物質は人間社会から隔離して集中的に管理すべきであり、国際原子力機関（IAEA）の基本原則から、放射性廃棄物は集約して管理し、拡散させるべきではないと主張している。また、焼却によって灰に濃縮された放射性物質の管理や放射能の封じ込めをどうするのかなど、がれきの受け入れに対して広域処理の「主役」である全国の市町村も判断に迷っているのが実態である。</p> <p>県知事と受け入れを表明している5市との間ですれ違いも見られるが、市長はがれき受け入れに対してどのように考えておられるのか伺いたい。</p> <p>(2) 原発再稼働問題に対する市長の考えを伺う</p> <p>北海道電力泊原発3号機が5月5日に定期検査入りしたことにより、国内の原発が全面停止した。野田首相は再稼働問題について中長期的には原子力への依存を極力低減させていくのが基本としながらも、当面すべての原発が止まったままでは国民生活や経済に悪影響が出るとして早期に再稼働させる必要性を強調している。</p> <p>本県においては、東京電力が柏崎刈羽原発を2013年度から順次再稼働させることに、住民からは「安全性を本気で考えていない」と反発が出た半面、「地域経済への影響が大きい。安全なら動かしても良い」との意見も出た。泉田県知事は福島第一原発事故の検証が終わらなければ再稼働は議論できないとしている。原発の安全性が問われている中で市長は再稼働に対してどのような認識をお持ちなのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	中 島 清 一	<p><u>2. 老朽橋対策について</u> 建設から40～50年を経た橋が多く、重大事故につながりかねない劣化が見つかっている。高度経済成長期に全国で集中的に造られた橋が老朽化している。 県内においても経年劣化に加え、厳しい自然条件もあって錆や亀裂などの損傷が進み、架け替えや改修工事が行われている。今後、維持補修費の増大も予測される場所であるが、本市における現状と対策について伺う。</p> <p><u>3. 運転免許の自主返納者に対する支援制度の拡充について</u> 目や耳の衰え、とっさの判断力の低下など、運転に不安を持つ高齢者が運転免許証を自主的に返納するもので、平成10年4月及び平成14年6月の道路交通法一部改正により運転免許の自主返納が制度化された。 返納者に対する支援制度を見ると、全国や県内の自治体ではタクシー利用券の支給や支援協力店による割引サービスがある。レストランの飲食料金10%の割引、家具店や眼鏡店の割引などさまざまな支援が行われている。 本市においては住民基本台帳カードの無料交付（500円程度）となっているが、さらなる支援の拡充を求めたいがいかがか。</p>
4	齋 藤 廣 吉	<p><u>1. 分水地区体育施設について</u> (1) 体育館の雨漏れの早期修理を (2) 体育館地下の物置の水溜りの修理を (3) 屋内体育施設サンスポーツランドの祭日、日曜の夜間の開放を望む。また、今まで何名ぐらいの利用者がいたのか。</p> <p><u>2. 空き家、空き地対策について</u> (1) 市内の空き家率は何パーセントか。 (2) 空き家、空き地に対して苦情はないか。あるとすればどんな苦情か。それに対する対応は。</p> <p><u>3. 道の駅周辺の指定管理を</u> (1) 道の駅周辺の指定管理の早期実現を</p> <p><u>4. 市の施設のトイレの洋式化を</u> (1) 各部局ごとのトイレ数と洋式の割合とウォシュレットトイレ数は。</p> <p><u>5. 除雪費の業者への支払いについて</u> (1) 平成23年度の月別の除雪出動回数は。 (2) 月別の業者への支払額は。</p> <p><u>6. 2世帯が残っている泉新市営住宅について</u> (1) 1世帯は何年も住んでいないが、早急に対応すべきでないか。 (2) 残るもう1世帯の対応を急ぐべきでないか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	樋 浦 恵 美	<p><u>1. 子どもの目線から見たまちづくりについて</u></p> <p>将来の燕市を担う子どもたちが日ごろから感じていることや、夢や希望を提言することで、子どもの目線を活かした住みよいまちづくりにつながっていくのではないかと考えます。そこで、子どもたちが市政にもっと興味を持って意見を述べられる機会、たとえば、子ども議会的な場を設けてはどうかと思うが考えを伺いたい。</p> <p><u>2. 食育について</u></p> <p>燕市食育推進計画「食育プランつばめ」が策定されましたが、第3章食育推進の方向、施策の体系の基本目標1として、「正しい食の知識を持ち望ましい食生活を実践する」とあります。具体的な取り組みの中に「保護者会や給食試食会などの機会を利用した食育の推進」と明記されているように、保護者への食育として給食試食会を実施してほしいと思うが、具体的にはどのように考えているのか伺いたい。</p> <p><u>3. 吉田東栄町・市道路線の安全対策について</u></p> <p>今後整備される吉田南小学校跡地、吉田東栄町5号線、43号線は、保育園に隣接または小学校に通じる道路でもあり、速度制限をするなど安全対策を講ずる必要があると思うが、具体的にどのように考えているのか伺いたい。</p>
6	渡 邊 雄 三	<p><u>1. 安心・安全なまちづくり</u></p> <p>(1) 通学路の総点検による環境整備について</p> <p>①通学路の総点検を燕市として行ったのか。</p> <p>②危険箇所はあったのかどうか。あったのであれば学校区別に何箇所あったのか。</p> <p>③危険箇所の環境整備は、どのようにしていくのか。</p> <p>④燕中学校改築工事が一昨年終わり、今新しい校舎で学んでいるが生徒の出入りが南北逆になったが、スクールゾーンの変更、又保護者の送迎ルートが決まりがあるのかどうか。</p> <p>(2) 自転車走行の環境整備について</p> <p>①市内の自転車事故件数と原因はどのようになっているのか。</p> <p>②近年自転車と歩行者の事故、賠償が発生する事例があるが、市内の状況は。事故に対する自転車保険の加入推進が必要と思うがいかがか。</p> <p><u>2. 地域防災について</u></p> <p>(1) 市街地排水対策の強化について</p> <p>①燕市総合計画の後期基本計画には「市街地の排水機能を向上させるため、排水施設の整備を推進するとともに国県との連携を強化し、国の事業などを活用した市街地冠水防止対策に努めます」とあるが、市内で集中豪雨冠水箇所は何箇所あったのか。</p> <p>②市街地冠水対策はどのように考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	渡 邊 雄 三	<p>(2) 自主防災組織の現状と課題は。</p> <p>(3) 防災リーダー講習会の狙いは。</p> <p>3. 障がい者福祉の充実について</p> <p>(1) ノーマライゼーションの理念のもと、住み慣れた地域で安心・安全に暮らすことのできる生活環境整備が求められているが、市の取り組みについて伺う。</p> <p>①障がいのある人を取り巻く状況について。</p> <p>②障がい者数と傾向性は。</p> <p>③生活環境の整備について。</p>
7	中 條 征 男	<p>1. 西川定期断水について</p> <p>(1) 西蒲原土地改良区は、農家に西川定期断水カレンダーを配布した。西川は市民生活に必要な水道用水供給の浄水場と、米作りでの農業用水で重要である。市は定期断水カレンダーをどう考えているか。</p> <p>①今冬は大雪のためか今年度は未だに定期断水が実施されていないが、これからの時期（6月～9月）に実施されると課題があると思うが。</p> <p>②西川からの水道用の取水量と、農業用水の取水量は十分であると思うか。</p> <p>③西川を創る会を構成している2市1村で西川取水量等について対策を講じているのか伺う。</p> <p>④国、県に取水量の緩和を進める方針は必要と思うが。</p> <p>2. 災害被害について</p> <p>(1) 4月3日～4日の暴風雨での本市の被害状況を伺う。</p> <p>①市の公共施設の被害状況は。</p> <p>②一般住宅や会社関係の建造物の被害件数は。</p> <p>③農業用施設（ビニールハウス等）の被害件数は。</p> <p>④被害の度合いにより市としての援助、助成策は考えられないか。</p>
8	埜 豊	<p>1. 財政問題について</p> <p>国債の発行残高が1,000兆円に迫り、2012年度政府予算でプライマリーバランスは22.3兆円の赤字と財政状況の改善が見られない中で、燕市としての今後の財政運営について。</p> <p>(1) 交付税について</p> <p>(2) 職員のコスト意識について</p> <p>(3) さらに踏み込んだ行財政改革について</p> <p>(4) 人口減少社会に対応したインフラ整備について</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	埜 豊	<p>2. 教育問題について</p> <p>教育立市宣言以来市民の教育問題に対する意識の向上が見られる中</p> <p>(1) 学力テストの学校別の結果公表について</p> <p>(2) 学力向上に向けた学校と家庭との関係について</p> <p>(3) 中学校における部活動の在り方について</p> <p>3. 産業問題について</p> <p>新規産業分野への挑戦は、産業再生にとって不可欠の課題であるが、航空産業、医療器産業には高いハードルがある。そのハードルを乗り越えるための行政の支援策は。</p>
9	土 田 昇	<p>1. 柏崎刈羽原発の問題について</p> <p>(1) 東日本大震災で重大な事故を起こした福島第一原発の事故から1年3カ月が経過しても原因究明もつくせないほど深刻な状況にあると思います。事故収束のめどが立たないために多くの人たちがふるさとを奪われ、先の見通しの立たない避難生活を強いられています。現在も原発事故の恐ろしさで福島を離れる人達もたくさんいると報道されている中で、自主避難も含めて10数万人とも言われています。県内の避難者数も新聞の報道によれば5月25日現在6,700人余とされており、市内でも現在147人の方々が避難されて厳しい状況にあると思います。市として今後もできる限りの要求、要望の実現に努力していただきたいと思います。</p> <p>まさに原発事故は時間的にも社会的にも、他の災害と比べようがないほど異質の災害であると思います。現在、多くの国民の方々が原発に対する不安を持っている中で、野田内閣は福井県の大飯原発の再稼働に向かってしていると報道されており、その後は柏崎刈羽原発も対象になるような発言もあります。そのような状況にあっても5月28日付けの新潟日報が報道した原発の再稼働についての世論調査が公表され、原発の再稼働に賛成が36%、反対が56.3%と報道されました。地域住民の生命と安全を守る立場から再稼働について市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 柏崎刈羽原発の使用済み核燃料からプルトニウムを取り出す再処理について、青森県は返送するような報道がなされているが（4月25日の新聞を参考に）、柏崎刈羽原発の使用済み燃料プールの容量は全7基の合計が2,910トン、昨年の12月末現在で2,335トンの使用済み燃料が貯蔵されていて、約80%が埋もれていると新潟日報は報道しています。</p> <p>そのような状況の中で、東京電力柏崎刈羽原子力発電所における事故等の通報連絡に関する協定書の第四条に基づいて、その点について明記すべきと思うがどのように考えるか伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
9	土 田 昇	<p>(3) 3月議会でも取り上げましたが、ヨウ素剤の配付について、それ以後県内の自治体でどのような状況になってきたか伺う。(福島は30キロ圏内20万人前後、柏崎、刈羽は80万人前後であり、その対応について確認する)</p> <p>2. 農業問題について</p> <p>(1) 4月28日付けの新潟日報の報道によれば、東日本大震災で宮城県の農家から新潟県が2,100トンの肩代わりで米の生産を引き受けたと報道された。(面積では420ヘクタール) それ以外に福島県の農家から、作付けできない12年産米を3,000トン引き受けることが決まっています、宮城県と福島県の合計で5,000トン前後になると思われませんが、県内の農家にどのように配分されたのか伺う。(反当りの金額も含めて)</p> <p>(2) 減反対策として大豆、長ネギ、十全ナスの作付けを優先的に指導してきたと思うが、大豆の補助金が少なくなり、加工米やコメ粉、飼料米で対応している農家が多くなってきていると思うが、大豆の作付け面積が昨年と対比してどのようになっているか伺う。また、大豆から稲作に変更する場合、農家に大変な苦勞が求められるがその点についての対策はどのように考えるか伺う。</p> <p>(3) 農地でありながら作付けできない土地(耕作放棄地)について、市としてどのように指導しているか伺う。また、農地転用の土地についても目的どおりに指導しているか伺う。(作付けできない面積と農地転用のとおり、実施していない面積はどうなっているか伺う)</p> <p>3. 学校給食センターの建設について</p> <p>(1) 再度確認するが、燕地域の学校給食センターの建設用地の問題で、都市計画の関係はどうなっているか伺う。(今後の見通しも含めて伺う)</p> <p>(2) 排水問題について地域住民の方々と話し合いがなされているか。了承は取り付けてあるか伺う。</p> <p>(3) 土地価格について地権者と話し合いができているか。味彩燕と隣地の地権者と話し合いができているか伺う。</p> <p>(4) 味彩燕に市から役員の配置が今後は必要と思うが、どのように考えているか伺う。</p> <p>4. 市道の安全対策について</p> <p>(1) 用排水路に面した市道にガードレールの設置が求められていると思うが、年次計画で対応すべきと考えるがその対策について伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	齋藤紀美江	<p>1. 行政改革の考え方について</p> <p>(1) 市民の行政に対する信頼を増し、市役所機能を十分に活かすには職員のやる気が大きく影響すると思う。やる気を引き出すためには適性に沿った人事が必要と思うがどうか。適性をどのように見極めているのか。人事に対する基本的な考え方は。</p> <p>(2) 行政改革を進めるには職員の意識改革が必要と思うがどうか。専門的知識を持つ職員も必要と思う。専門的知識を持つための研修等はどのように進めているのか。</p> <p>(3) 正職員は減ってきているが、臨時職員がそれに付随して増えてきている。臨時職員の処遇についてどのように考えているのか。</p> <p>(4) これからの行政運営には市民との協働が重要とされている。協働のフォーラムも開催され盛況だったと思うが一日だけのイベントが盛況だったからと言って、市民協働の意識や行動が定着しているとは思えない。実際的な活動を広げていくための取り組みが必要と思うがどうか。</p> <p>2. 防災について</p> <p>(1) 今年度の総合防災訓練の実施計画はどのようになっているのか。以前は小学校区ごとに避難訓練も含めた総合防災訓練が行われてきていた。学校と地域が一緒になった訓練も必要ではないか。</p> <p>(2) 福島から避難されてきた人たちを受け入れ、大勢のボランティアから協力をいただいた。災害ボランティアの必要性については十分認識されたことと思うがどうか。協力いただいたボランティア総数はどのくらいか。また、災害ボランティアの基本的知識を持った養成が必要と思うがどうか。その養成等はどのように考えているのか。</p> <p>(3) 災害発生時の連絡体制について検証されているのか。今回の暴風の際の停電で電話を使えなかったところがあったと思うがどうか。学校等は避難所としての機能が求められている。避難所としての整備等の検証が必要ではないか。</p> <p>(4) 防災計画に女性の視点が必要。女性の意見を計画に反映させるためには、過去の災害でどのような問題があったのか、学習し検証する必要があると思う。女・男フォーラム開催時ワークショップ等で、広く意見交換などの取り組みも必要ではないか。</p> <p>(5) 他市町村との防災協定についての取り組みはどう進めるのか。</p> <p>3. 病後児保育の取り組みについて</p> <p>(1) 病後児保育の必要性については以前から言われている。病後児保育に関しては、長岡市をはじめ多くの市町村で取り組みがなされているのに、燕市ではいっこうに進まない。取り組み状況はどうなっているのか。</p> <p>4. 上下水道の減免規定について</p> <p>(1) 今冬は凍結等の影響があり、減免を求める要請が多く発生したのではないかと。減免規定がしっかり明記されていないがために、市民への説明に苦慮されたように思う。他市町村では減免の規定がしっかり明記されている。混乱を招かないためにも明記が必要ではないか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	山 崎 雅 男	<p>1. 定住促進・まちなか支援事業について</p> <p>(1) 市外からの子育て世代定住化を促進等、都市的土地利用を図る用途地域等において、取得費の一部補助に対しての具体的内容と3カ年の計画内容を伺う。</p> <p>(2) 燕市の活力を高めるには、地場産業の基盤強化が重要。本市に定住してもらうには就労の場の確保が必要であるかと思うが認識を伺う。</p> <p>(3) 子育て世代から定住してもらうには、子育て支援、教育環境の整備等々、密接な関連があり重要な課題と成り得るが見解を伺う。</p> <p>2. 農業政策（農地・水・保全管理支払い交付金と人・農地プラン等）について</p> <p>(1) ①平成23年度終了した農地・水・環境保全向上対策事業に於ける地域の取り組み状況と効果、課題点について伺う。</p> <p>②集落共同での資源保全の取り組みに特化。名称を「農地・水・保全管理支払い」に変更。名称変更に対しての違いと受け止め、今後の展望と展開についての見解を伺う。</p> <p>(2) ①市は農地利用の現状、担い手の現状と現在の課題、将来の見通し、展望についての認識を伺う。</p> <p>②市は国が進める「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」に対する認識とどのような方向性を考えているのか。</p> <p>③「人・農地プラン」と連動する農地、新規就農人口減少傾向の中、新規就農者を確保することが重要な政策課題。燕市の直近の実態と営農にあたっての課題、新規就農については若い人の就農意欲と定着をいかに図るか、併せて雇用就農の促進、地域リーダー、経営者の育成等々に対する市の見解を伺う。</p> <p>3. 市有財産（未利用）の売却、貸付について</p> <p>(1) ①燕市行政改革大綱後期実施計画で市有財産（未利用）の売却、貸し付けが平成24年度から27年度の4カ年の年次計画。財政的見込み額は平成24年度1億6000万円、平成25年度6300万円、平成26年度4000万円、平成27年度3000万円と数値で示している。計画予定あつての表示と思うが、市有財産売却および貸し付けに対する具体的計画内容を伺う。</p> <p>②前燕市長の時から議会で取り上げた「たのうら燕」長期にわたり、人的・自然災害に対して不安を与え、景観を損ねて近隣住民に迷惑をかけ続けているが、直近の公売状況はどうか。</p> <p>4. 確かな学力の向上について</p> <p>(1) 燕市は国内外を相手にしての産業のまち・ものづくりのまちでもある。教育ビジョンの重点施策の中に英語教育・国際理解教育の推進を掲げている。国際化・グローバル化の波の中で国際交流を推し進めるにあたり、小学校教育において国語力の育成、英語力の関係、重要性に対するの捉え方と、今後の教育委員会はどのような方向性を示していく考えなのか。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	山 崎 雅 男	<p>(2) ①知・徳・体のバランスとれた心豊かで生きる力がみなぎる子どもたちを目指した中、データで平成23年度、燕市の児童・生徒の生活状況、教研式全国標準学力検査（NRT）体力テスト等の様子と、前年度対比した場合の結果、課題は何か。</p> <p>②燕市学校教育基本計画の中で、確かな学力向上について教育委員会が整備していかなければならないかと思う。課題・指導力の強化や学び舎の良き雰囲気づくり等々があると思われるが、学力の向上についての位置づけと課題は何か。</p>
1 2	長 井 由 喜 雄	<p><u>1. 行政情報データ放送の市民への浸透と積極的活用および使い勝手の向上について</u></p> <p>(1) NHKとBSNによるシステム内容の違いは何か 現在、デジタル放送による行政情報はNHKとBSNを通して見ることができ、放送画面に載るまでの手法と情報の時間的差異などシステム内容による違いは何か。</p> <p>(2) 防災の観点からのデータ放送活用と日常的な市民への市政情報の提供について 行政情報データ放送の一番の活用メリットは、災害や防災情報をリアルタイムで市民に提供することであると考えます。 緊急時に行政と市民が最大限これを活用するには、①市民が行政情報データ放送を知っていること、②市民が日常的に行政情報データを見るのが習慣化されること、③そのために行政側から、市民が知りたいと思う新鮮かつ重要な情報をアップするとともに、飽きさせない工夫が大切であること、④放送局側に依拠する「見やすさ」の工夫についても、提供者・利用者の立場から積極的に提案し改善を求めていくこと、⑤リモコンなどハード面においては、高齢者でも行政情報データ画面に簡単にたどりつけるよう、使い勝手の良いものとするための改良について、放送局、自治体、利用者、ノウハウを持つ市内企業との協力のもとで先進的に関わること、⑥小中学校や生涯学習の場、高齢者が集う場などで「行政情報データ放送の見方」を伝える機会をつくることなどが必要なのではないかと考えます。 それぞれについてどう考えるか。</p> <p>(3) 日常的な生活関連・観光情報の配信について 行政情報データ放送は、これを担当する課が「地域振興課」であるとしている。行政情報データ放送が本契約となる中で、これは最大限活用されるべきであると思うが、担当課としてはどのように運用していくのか。</p> <p>(4) 防災行政無線、緊急告知FMラジオ、行政情報データ放送の活用について 防災と災害時においては、防災行政無線、緊急告知FMラジオの役割とともに、行政情報データ放送が加わることで、防災・災害情報伝達手段として三種の神器が整ったことになると思う。それぞれの役割と十分な活用について、防災課としてどのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 2	長井由喜雄	<p><u>2. 子どもの医療費助成について、入通院ともに中学卒業まで全員を対象に</u></p> <p>(1) 子どもの数で差別せず、入通院とも中学卒業までの拡大を 今議会に提案された議案第39号については、新潟県が入院助成を「3人以上子どもを有する」世帯のみ「中学卒業まで」とした中で、子どもの数に差を付けず全員を対象として「中学卒業まで」としたことは評価したい。しかし、通院助成については3子世帯以上のみ「中学卒業まで」としたがなぜなのか。 「燕市次世代育成支援行動計画」では、「最低限入院・通院とも小学校卒業まで助成対象を拡大します」とし、これは既に実現されているが、事業内容では「疾病の早期発見、早期治療を促進」、保護者の経済的負担軽減」「子どもの保健の向上と福祉の増進」などがうたわれている。これは、市民である子どもたち全員がその対象であると解することは誰一人疑うことがないのではないだろうか。 市は、子どもの人数で差別することなく公平にその機会を提供するべきではないのか。中学卒業まで全員の通院助成拡大を求めるがいかがか。</p> <p><u>3. 子ども・子育て新システムについて</u></p> <p>(1) これまでの保育基盤を根底からくつがえす「子ども・子育て新システム」についての政治姿勢について 今国会に提出されている「子ども・子育て新システム」は、子どもの権利保障をないがしろにし、自治体の責任を後退させる内容であるなど、これまで築きあげられてきた保育基盤を根底からくつがえす中身となっている。 市民の保育の権利の後退となるこれら法案についての市長、教育長の考えはどうか。またこれらがもし現実のこととなったとき、どのような問題点が出てくると考えるか。</p>
1 3	齋藤信行	<p><u>1. 「教育立市宣言」の具現化について</u></p> <p>教育立市宣言後、その具現化を目指して施策を展開されていますが、「燕市らしい特色ある教育の推進」や「確かな学力の向上」について、その取組内容や進捗状況についてお伺いします。</p> <p><u>2. 英語教育の取り組みについて</u></p> <p>学習指導要領の改訂に伴い、平成23年度から小学校での英語（外国語活動）の授業が完全実施されているが、燕市での取り組み状況や課題等についてお伺いします。</p> <p><u>3. 現庁舎の利活用計画について</u></p> <p>3月の定例会では、菊地副市長をトップとした現庁舎利活用推進本部を立ち上げてやっていくということでしたが、今の状況はどのようになっているのか、進捗状況を踏まえてお伺いします。</p> <p><u>4. 水防計画について</u></p> <p>梅雨の季節になり河川の増水などによる土のう積みの時期になりましたが、市の水防対策、マニュアルなどについて消防署、消防団も交えてどのような状況に対し、対策をするのかお伺いします。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	タナカ・キン	<p>1. 市役所長善館について</p> <p>将来の燕市役所を担う職員を育成するため、今年度から新たに人材育成事業として市役所長善館がスタートしました。その目的や内容、研修における資格や期間、また行われる場所や時間、参加人数などについてもお聞きします。</p> <p>2. 計画書作成における出生数などの数値について</p> <p>燕市総合計画（平成20年度～平成27年度）では、出生数の推移は資料・住民基本台帳である。燕市幼児保育・幼児教育基本計画における燕市出生数も住民基本台帳値とあるが数値が違っている。また、燕市次世代育成支援行動計画（後期）の出生数の推移は資料・県統計となっていて、この数値も先の2つと違っている。</p> <p>(1) なぜなのか。違う資料を使用するメリットはあるか。</p> <p>(2) 今後、このような計画書を作成する際は統一すべきではないか。</p> <p>3. すこやか赤ちゃん誕生祝い金支給事業について</p> <p>平成18年4月1日から平成22年12月31日までに生まれた第3子以上で申請をして、受給資格があるのは、449人ということです。</p> <p>(1) 第3子以上の赤ちゃんを出産しているのに、受給資格が得られなかった人は何人くらいいたのか。</p> <p>(2) 制度が終わったことで、市民から不満の声はなかったのか。</p> <p>(3) 受給資格の条件を満たしているのに、申請し忘れ、後で問い合わせてきたというケースは無かったか。あったのならその対応は。</p> <p>(4) 3月定例会でこの10年間の出生数を質問した。住民基本台帳の出生数を答弁してもらったが、平成20年10月、飯能市議会厚生文教委員会行政視察資料の出生数が住民基本台帳の数値と違っていた。これについて富森教育次長は飯能市の議員視察資料については、今手元に無いので後ほどよく確認します。と答弁し、その後文科省に戻られ、また後任の現小林教育次長からも何の返答も無かった。</p> <p>この資料は合併後の平成18年と19年の数値は住民基本台帳と一致するが、合併前の数値となるとまるで違っている。行政視察資料では効果が誇張されているのである。平成20年に子育て支援課長になったばかりの小林恵美子課長（現教育次長）が作成したというが、行政視察資料は通常、その係の職員が作成すると聞く。なぜ、来たばかりの課長が作成したのか。そしてこの数値の根拠となった資料は何だったのか。</p> <p>(5) 市長はこの制度については「本当に将来的に負担がかかるという制度で、気持ち的には見直せるものなら見直せばいいのだろうな」と思いつつも、やはり既に個々の人たちに交付決定通知をしているという事実を踏まえすと、なかなか法律的には難しいと、そのように受けとめております。」と答弁されたが、弁護士に相談されたのか。されたのなら、どういった考え方の相談をし、どういった回答があったか、具体的に教えてください。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	タナカ・キン	<p>4. 「頑張れ東北！仮設住宅応援グッズ」について</p> <p>燕市は昨年、3.11 東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島の三県に対し、仮設住宅での生活に欠かせない生活用品のセット「頑張れ東北！仮設住宅応援グッズ」計3千セットを寄贈した。</p> <p>(1) 1年が経過した現在、グッズがどのような経路で被災者に届き、また、使用した感想などデータを集計してもらいたい。</p> <p>(2) 災害時、仮設住宅には「メイド・イン・ツバメ」のグッズを、ということで政府に備蓄してもらえるよう売り込めないか。</p>
15	阿部健二	<p>1. 学校の社会科で民主主義や議会のありかたを学校ではどのように教えているのか</p> <p>まず魂消えたのは、原発に関して素人集団の政府が、原発専門家の意見より“政治判断”を優先するとして大飯原発の再稼働を言い出し、さらには「地元同意の法的義務はない」と言い放ったことである。</p> <p>ちなみに、いま燕市の中学校で使っている『新しい社会・公民』という教科書の中の“民主主義と政治”については「一つの問題をめぐって、いろいろな意見が出て、対立や争いが、起こることがあります。このような対立や争いを解消するためにルールを定め、解決に導くことを広い意味で政治と呼んでいます」と書かれ…「政治を行うしくみは、いろいろあります。かつては、一人または少数の指導者が、すべてのものごとを決定するやり方もありました。しかし、こうした指導者が、いつもよい政治を行うとはかぎりません。そこでみんなで話し合い、決定するというやり方が、今日、多くの国や地域でとられています。これが民主主義です」と書かれている。</p> <p>(1) 冒頭に述べた現政府の原発再稼働への政治姿勢は、教科書が民主主義と謳う「みんなで話し合い、決定するというやり方」ではなく、かつての（民主主義ではない）「一人または少数の指導者が、すべてのものごとを決定するやり方」ではないかと思うが、いかがか。</p> <p>(2) もし、民主主義ではない政治が行われている日本を「民主主義国家だ」として教えているとしたら、そのことが政治家の民主主義への錯誤を続けさせる基ではないのかと思うが。</p> <p>2. 教科書では、今の日本の、殊に地方における「議会制民主主義」を疑問視しているように思えるのだが</p> <p>教科書には「国民や住民が、直接話し合いに参加するやり方（直接民主制）もありますが、一度におおぜいが集まるのは困難ですし、複雑なもめごとを決めるには適しません。そのため、多くの国では代表者を選挙で選び、その代表者が集まって議会をつくり、ものごとを話し合って決めるというやり方（間接民主制）がとられています。これを議会制民主主義とも言います」と書かれている。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿 部 健 二	<p>が、教科書にはインターネットを活用した岡山市の“電子町内会”のことが紹介され、さらに教師用指導書に“電子町内会”についての参考資料まで用意されているのである。</p> <p>(1) と言うことは、いまの「議会制民主主義」が十分に機能していないが故に“電子町内会”が必要だということなのか？…である。</p> <p>3. 国政についてはかなり詳しい教科書に地方自治についての記述が殆ど見あたらないのは何ゆえか</p> <p>中学用教科書の「行政のしくみと内閣」の中で「立法と行政については、議院内閣制と大統領制という二つのしくみがあります。例えばアメリカの大統領制では、国民は立法を行う議会の議員と行政の長である大統領を別々に選挙します」と書かれています。</p> <p>小学6年生の教師用教科書には“指導の留意点”として「地方自治は、首長と議会の二元代表制をとっている」と書かれ「住民は、選挙を通じて首長と議員をそれぞれ選ぶことで、地方自治に参加していることをつかませ、選挙の大切さに気づかせるようにしたい」と書かれているが、これで生徒が“議院内閣制と大統領制の違い”を理解できるとは、とても思えない。</p> <p>地方議会が行政（執行機関）とは独立・対等の立場であることや、地方自治体の基本事項を議決することと、執行機関を監視・評価するという二つの重要な役割をもっていることが忘れがちになり、あげくに、与党国会議員を真似て、行政の一員であるかの如く錯覚しがちになるのは、もしかすると、学校で“議院内閣制と大統領制の違い”をキチンと教えてないことからきているのではないかと考えてしまうのである。</p> <p>中学用教科書では「選挙のしくみと課題」の中で「かつては、財産などによって選挙権が制限されたり、女性の参政権が認められなかったりしていました。普通選挙が実現するまでには長くねばり強いたたかひがあつたのです」と書かれているが、まずもって、日本の地方自治体が大統領制をとっていることを教えるべきではないだろうか。</p> <p>そして、明治憲法下では、知事は天皇の任命による国の官吏、市長は議会で選任されたものを天皇の承認を経て任命、また、町村長も議会で選出されたあと知事の認可を必要としたことなどの過去との違いを教えてほしいのである。</p> <p>(1) 地方自治法のなかった明治憲法下での「市会」と、いまの「市議会」との差を教えることが地方分権が唱えられている今こそ必需に思えるのだが、いかがか。</p> <p>(2) ある（燕市でない）中学校では「地方自治が、なぜ民主主義の学校と言われているのか」という問題が出されたそうである。そのことから学校によっては（あるいは先生によるのか）民主主義の教え方に差があつて然るべきとは思ふが、燕市の学校でもジェームズ＝ブライスのことを教えているのだろうか？…である。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿部 健二	<p>4. <u>学校では、議会制民主主義における“多数決の原理”と同時に“少数意見の尊重”の重要性を教えているが…多数決にはどのような問題があるのか</u></p> <p>教科書では「話し合っても意見が一致しないこともあります。その場合は、最後は多数の意見を採用することが一般的です（多数決の原理）。そのとき、反対の意見を持つ人も多数の意見に従うことになるため、結論を出す前に少数の意見もじゅうぶんに聞いて、できるだけ尊重すること（少数意見の尊重）が必要になります」と書かれているが…</p> <p>(1) 「結論を出す前に少数の意見もじゅうぶんに聞いて、<u>できるだけ尊重すること</u>」への対応策の一つが「熟議民主主義」を標榜する文科省の「熟議カケアイ」と見ていいのか。</p> <p>(2) 合併前のあるマチの首長が議会（いわゆる合議の場）で、しきりに「見解の相違だ」という言葉で議論を頓挫させたやに聞くが、その言葉は「議会制民主主義」における合議の場では禁句であり、況や「熟議民主主義」に於いてをやと思うが、いかがか。</p>
16	中山 眞二	<p>1. <u>吉田南小学校跡地の売却について</u></p> <p>(1) 旧吉田南小学校の跡地は、一部をこども園等に活用し、残地を宅地造成する方向にある。条件として外周を6メートルの道路を作ることになっているが、これでは土地の大きさに占める道路の割合が大きくなりすぎ、造成費もかさみ、せっかくの燕市所有地を安く売却することになる。外周道路の必要性を問う。</p> <p>2. <u>土地の無償貸与について</u></p> <p>(1) 新庁舎建設また学校の移転等に伴い、遊休の土地や施設がでてきている。これらについては有効利用が考えられているが、その際無償貸与されることが多いように見受けられる。有償無償の基準はどこにあるのかを問う。</p> <p>3. <u>新庁舎について</u></p> <p>(1) 現在、市職員の駐車場の為に土地を借りており、そのために市職員は駐車料金を払っていると聞く、借地料と駐車料金の負担額を問う。また新庁舎の駐車場は有料なのか無料なのかを問う。</p> <p>(2) 移転後の旧庁舎周辺の活性化について問う</p> <p>(3) 新庁舎建設計画当初に様々な削減効果が出されたが、新庁舎への移転が一年を切った今、移転に伴い、経費の削減効果がより具体的になったと思う。メリットデメリットについて問う。</p> <p>4. <u>防災について</u></p> <p>昨年大雨で三条市と共に東町に避難勧告が出され、その際大島中学が避難場所に指定された。東町は、付近に燕市所有の堅牢な建物がなく、民間もしくは三条市の大島中学か、大島病院に頼らざるを得ない。中之口川の堤防は低く、また信濃川に隣接しており対応が急がれている。三条市とも連携した対策を問う。</p>